

カラフル野菜で農業楽しむ

埼玉・深谷市 竹内博昭さん

「野菜嫌いな子も食べててくれる」と好評

30品種以上のカラフル野菜を生産している竹内博昭さんと妻の真衣さん夫妻



文も多く、色やサイズの要望にも真摯に対応してきました。そんな姿勢が飲食店の間でも口コミで広がり、信頼関係が構築できている。

竹内さんは「子どもたちが喜んで食べててくれるような、自分で楽しめる野菜作りに今後もチャレンジしていきたい」と笑顔で語る。

農後、差異化を図るために目をつけたのがカラフル野菜だった。「同じ野菜でも色の違いで肥料や灌水の量を変える必要があり難しいが、日々楽しみながら研究している」と竹内さんは話す。

カラフル野菜は、関東圏内のスーパーや地元の直売所などで販売。「野菜嫌いな子どもでもおいしくといって食べてくれる」とファミリート層からも好評だ。

【埼玉】深谷市でカラフル野菜を生産しているケースターフームの竹内博昭さん（36）。モットーでは「野菜で楽しむ農業」で、ニンジン、ジャガイモ、ミニトマトなど30品種以上のカラフル野菜を生産するほか、全国的に有名な深谷ねぎを主力に経営している。

大学で農業経済を学び、卒業後は新潟や山梨の農業法人で5年間、有機農業や施設野菜の栽培技術を学んだ。実家で就

また、飲食店からの注